



カジュアルに楽しむ Jリーグな日々。  
FAGIANO OKAYAMA BACK UP PROJECT

# ファジ★カジ

# OKAYAMA

あこがれのJリーガーも、ピッチの外ではやんちゃな少年のような一面をのぞかせる。ここでお届けするのは、選手のそんな素顔。「なんか、いいなあ」という選手を見つけたらスタジアムや練習場に行ってみよう。身近でふれあえるのは「Jのある街」だからこそ!



## サッカー教室

コーチが幼稚園や小学校、スポーツ少年団などに出向き、サッカー教室を実施。コロナ禍の影響から訪問数は減っているものの、子どもたちに体を動かす楽しさを伝えていきます。また、2021年はサッカー授業の充実を目的として、小学校教員の方を対象にサッカー実技研修会も実施しました。



脇谷誠(わっきーコーチ)

サッカー教室では、仲間を思いやることの大切さ、仲間と一緒にプレーすることのすばらしさを感じてもらえるよう指導させていただいています。ひとりでは難しくても仲間と協力することで乗り越えられる、そんなサッカーの醍醐味を伝えられればと思います。

## 食育

岡山県と協働し、オンラインで開催した親子料理教室イベントに、澤口クラブコミュニケーター、真鍋栄養アドバイザーが参加。選手向けに栄養バランスを考えた「ファジ飯」作りを通じ、食育だけでなく、男性が家事等の楽しさを知るきっかけになることも目指しました。



澤口雅彦  
クラブコミュニケーター

選手にとって食事を取ることは、シーズンを戦う上で非常に大事な要素のひとつです。バランスのよい食事は皆さんにとっても大事なことで、活力を生み、日々の生活が変わります。食事の大切さを改めて学び、同時に料理を作ることの楽しさ、大変さなど両面を感じてもらえる機会を目指しました。

## 2021

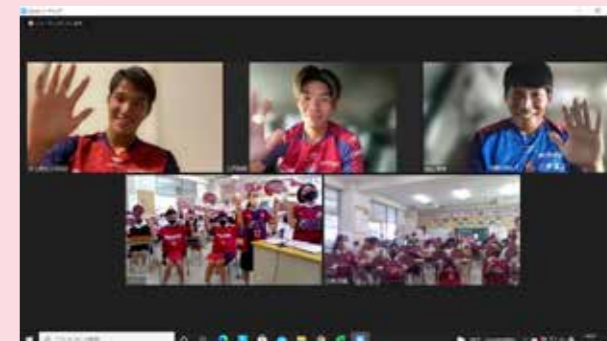
オフシーズン企画 Vol.2

# ホームタウン活動レポート

Jリーグでは、Jクラブの本拠地を「ホームタウン」と呼び、「Jクラブと地域社会が一体となって実現する、スポーツが生活に溶け込み、人々が心身の健康と生活の楽しみを享受することができる町」と定義しています。そんなJリーグ理念に賛同し、地域社会と一体となったクラブづくりを行っているファジアーノ岡山のホームタウン活動の一部を紹介します。

## 小学校オンライン交流&メッセージ動画贈呈

2017年より実施している岡山市内全小学校への全選手一斉訪問事業。コロナ禍のため、2020年、2021年はオンラインで交流。児童が選手たちへ積極的に質問を投げかけ、大変盛り上がりました。また、キャリア教育を目的にした選手のメッセージ動画を岡山市教育委員会へ贈呈。道徳の授業などで活用されました。



子どもたちにはたくさん行動して、好きなことや楽しいことを見つけてほしいです。コロナ禍で制限の多い日々ですが、「今」を全力で楽しみ、何かに一生懸命に取り組むことで実り多い人生を歩んでもらいたい。同時に自分の周りにいる人を大切に、感謝の気持ちを持つことも意識してほしい。そんな思いを込めて参加しました。



濱田水輝選手

## NEWS

## 「2022新加入会見&新ユニフォーム発表会」開催!

1月8日(土)にイオンモール岡山にて「2022新加入会見&新ユニフォーム発表会」を開催し、ファジアーノ岡山公式YouTubeチャンネルで配信しました。当日は、今季就任した木山隆之監督、新加入コーチングスタッフ、新加入選手が登場し意気込みを語りました。2022シーズンの新たなユニフォームもお披露目。「伝統と情熱」をコンセプトに、岡山の工芸品のひとつ「花ござ」がモチーフの1stユニフォームと、キジが空を舞う姿をイメージした2ndユニフォームを紹介しました。



## 社会課題解決に向けた活動



10月のホームゲームでワクチン接種会場をスタジアムに設置。約120名が接種しました。また11月の試合では、新型コロナウイルス感染症ワクチン2回接種、または陰性が証明された方を対象に「ワクチン・検査パッケージチケット」を販売。実証実験として政府・自治体とともに取り組みました。